

和装小物と着付けの話

着姿からは見えないけれど、キレイな着付を支えてくれている

“着付け小物”

皆さんはこだわって使っていますか？

普段使いの着付け小物の選び方や、使い方は
着物初心者でも簡単に改善することができる部分です♪





着付けの最中、たま子のように困ることがあったら
着付け小物の事、見直してみましよう♪



まずは…

みんなはどんなの使ってる？和装小物たち。



腰紐（こしひも）

着付けにおいて欠かせないアイテム腰紐！
素材はモスリンや、絹などさまざまですが
平べったくて幅のあるものが
体に食い込まず楽に着付け出来ますよ！



伊達締め（だてじめ）

襦袢に紐をかけた後、着物に胸紐をかけた後に
使用します。補正の役割や、着崩れを防ぐ効果
があります。素材は昔から愛用されてきた正絹の
博多織のものや、伸縮性のあるゴムベルトタイプ、
化繊で簡易に作られたものもあります。

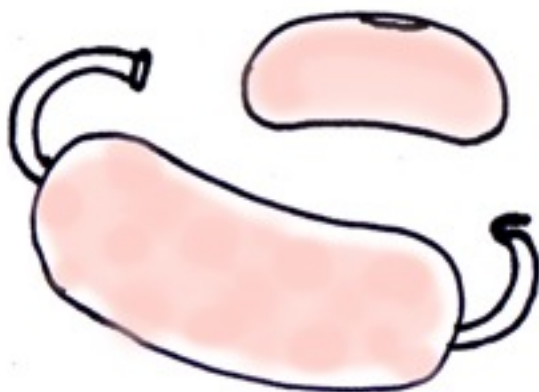


帯枕（おびまくら）

名前の通り、帯の枕です。美しいお太鼓をつくるために必須。素材感もいろんなものがありますが若い方ほど大きめの丸っこい形、お年を召すほど控えめな薄手の枕を使います。縦に幅のある丸っこいモノは振袖帯などのお嬢さん向け枕かも...？

前板（まえいた）

帯にシワがよらず綺麗に締められるように装着するものです。さきにベルトがついていてウエストに付けておくタイプと、帯を締めている途中で差し込むタイプの2通り。カタチや大きさも色々あります。



衿芯（えりしん）

長襦袢の衿にさしこむものです。硬過ぎず、自分にあったものを見つけてみましょう。夏用にはメッシュになったものなどもあり。白いものや、透明のものがあります。

着付けクリップ（きつけくりっぷ）

着付け専用を考えて作られたクリップです。洗濯バサミとは強度が違い、挟む部分はゴム素材になっていて着物や帯を傷めないようになっています。落ち着いて着付けを進める上ではもちろん、和装で作業するときには袖や裾をつまんでおける便利アイテムにも！



どうして苦しくなるの？ 胸下は結び目の密集地帯！！



胸の下は、腰紐や帯枕のヒモなど、結び目が密集しやすいところ！
ポイントをおさえスッキリとした楽チン着付けをマスターしましょ☆

肌襦袢で...

長襦袢でも...

そして着物でも...

最後は帯枕の結びも！！



ポイント①

肌襦袢着用時。

肌襦袢についているヒモ、もしくは肌襦袢の時に使っているヒモは硬くて細くありませんか？

肌襦袢着用時はヒモは必要ないくらいです。綿などの素材で出来ている肌襦袢は滑りませんし、肌に沿いやすいはず…。

ヒモで結ばず、補正のタオルで抑えておきましょう♪



ポイント②

長襦袢着用時。

長襦袢着用時、シワ伸ばしする手が入らないくらいヒモを前でキツく締めていませんか？

長襦袢に限らずですがヒモを締めるのは、後ろで交差させた時だけにしましょう！

前に持ってきてからの結びはどんなにキツく締めても苦しいだけです。



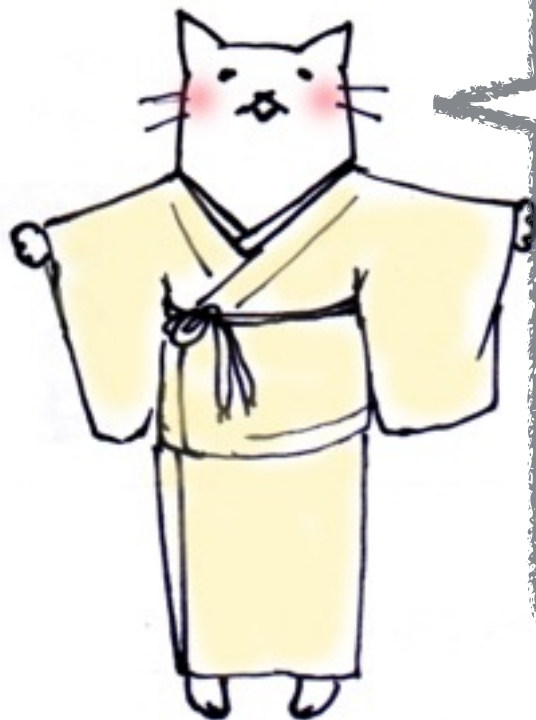
ポイント③

きもの着用時。

長襦袢の結び目と同じ位置で結んでいませんか？また、ど真ん中で全部結び目を持ってきてしまうのも✕

重なって固まりになった結び目はスッキリしない胸元の原因に…。

長襦袢の結び目とはずらしたところで結びましょう！もちろんヒモをキュッと締めるのは長襦袢と一緒に後ろでだけ！



ポイント④

帯枕装着時。

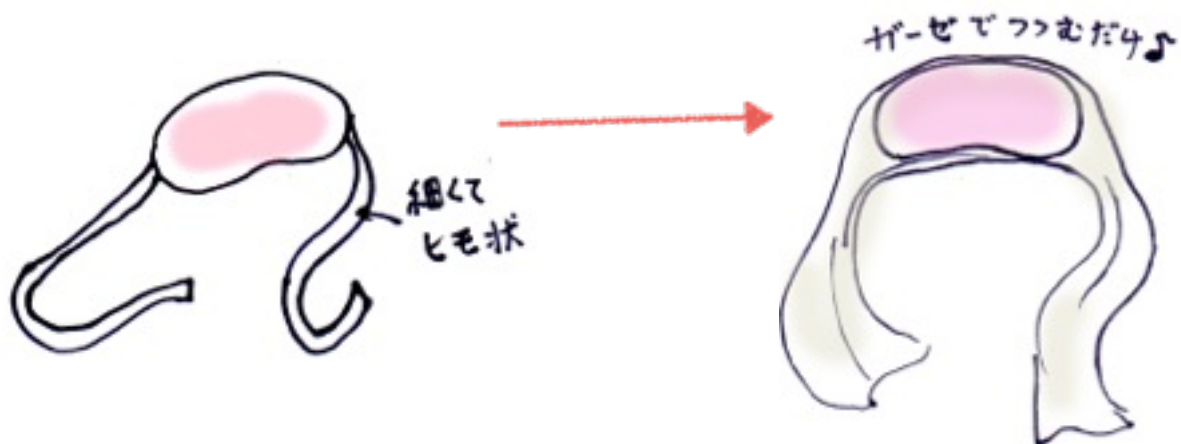
最後の最後…、帯枕も胸下でゴロゴロしがち！

まずは背中に沿わせるために上からグーッと下めにひっぱり、結んだら帯の内側に入れ込みます！

ポイントは、前下がりを意識しつつVの字に下の方へ押し込むこと！



帯枕も痛くないよう治しておきましょう♪



あんなに苦しかったのにー。
気にかけてなかった結びに気をつけたり
小物を替えただけで、すっかり楽チンになったよ！
みぞおちも痛くないし、着物で長時間の作業も
食事も…ぜんぜん平気だよ！



どうかしら？みんなの着付けに必要な
和装小物は準備できましたか？

はじめて着付けを習い始めた方はきっと
教えてもらった通りの事、みんなと一緒に安心よね。

でもみんな個性があるように、身体のカタチはみんな
違うから、補正や和装小物の好みは
人それぞれになるものです。

先生に相談しながら色々試して、自分の着付けを
見つけていきましょうね！

